

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		ごみ収集啓発事業		担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	40231	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市ごみ収集所容器設置費補助金交付要綱					
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		ごみの収集運搬の効率化、中間処理施設での適正処理を推進するため、深谷市のごみの分け方・出し方のルールの徹底を図るための啓発看板・警告ステッカー作成及び自治会加入・未加入世帯へチラシを配布する。・ごみ収集所容器を設置する自治会に対し、設置費の2分の1以内（限度額3万円）を助成する。・市で収集・処理できないごみ（不法投棄物）を処分する。								
目的 ※何のために		ごみ収集運搬の効率化、中間処理施設での適正処理の推進及びごみの適正処理の推進								
対象 ※誰・何を対象に		市民及び自治会								
手段 ※どのように		ごみ収集所容器の設置費の2分の1以内（限度額3万円）補助の実施や「ごみの出し方・分け方」のチラシを作成し市民への周知を図り、効率的な作業実施に努める。								
成果 ※何を求めるか		廃棄物の抑制と市民意識の向上を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	1	清掃総務費	ごみ収集啓発事業	2,233,343
本事業の 主な業務		・ごみ収集所容器設置費補助金申請受付				・ごみ収集所新設等受付				
		・一般廃棄物収集計画表（ごみの分別・出し方）チラシ作成				・ごみ収集所用地寄付申請受付				
		・開発等によるごみ収集所設置協議				・				
		・ごみ収集所における苦情受付				・				
		・自治会加入・未加入世帯へのチラシ配布				・				
		・啓発看板、警告ステッカー作成				・				

2. 事業費（投入コスト）

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画						
事業費	予算（現額）	2,569,000	2,431,000	2,497,000	2,522,000	
	決算額	2,443,022	2,270,098	2,233,343	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	
	一般財源	2,443,022	2,270,098	2,233,343	2,522,000	
人件費	従事職員数（人）	0.90	0.90	0.90	1.15	
	人件費相当試算※	7,082,602	7,209,149	7,400,017	9,806,993	
総事業費試算		9,525,624	9,479,247	9,633,360	12,328,993	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	啓発チラシ配布枚数		目標値	百枚						
			実績値		609.89	619.53	638.12			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		必要世帯数に配布するため目標値を設定できない。 / 自治会加入、未加入世帯配布数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	啓発看板配布枚数		目標値	枚						
			実績値		28.00	78.00	147.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		要望で収集所に掲出必要箇所となるため目標値は設定できない。 / 不法投棄禁止・赤分別マナー・黄							
	実績値の算出式									
成果指標 1	ごみ収集所に係る苦情対応率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		苦情は、全てに対応することを目標とする。 / 苦情の処理率							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	「ごみの分け方・出し方」の啓発チラシを作成し、年度末の広報に折り込み配布することにより、収集日や分別方法について周知することができた。また、市民が必要に応じて啓発チラシが入手可能となるよう各公民館や本庁舎、支所等に配置することで、利便性の向上に努めた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	ごみ収集所については、自治会や利用者による維持管理となるが、様々な苦情に対する対応策として、必要に応じた啓発看板や啓発チラシの提供により、問題解決に努めることができた。
			評価者 課長補佐兼業務係長 小舟 淳一

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	啓発チラシについては、配布に加え、市のSNS等を活用した発信も行うことにより、効率的な周知啓発を実施している。
			評価者 課長補佐兼業務係長 小舟 淳一